

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	生産システム工学特論第一		
英文授業科目名	Advanced Topics in Manufacturing Systems Engineering 1		
開講年度	2005年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	由良 憲二		
居室	西5 - 501		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yura@se.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>生産システムを設計・計画・管理するに当って重要な3つの観点、「生産方略」、「生産スケジューリング」、「生産環境計画」を取り上げて講義する。「生産方略」では、市場・製品・製造・物流システムに対する戦略を取り扱う。「生産スケジューリング」では、時間的流れの中で、ロジスティックス（素材から消費者までの物の流れ）、オペレーション（生産に関連する諸活動）、マンパワー（生産従事者の勤務体制）の計画問題を検討する。そして、「生産環境計画」では生産に伴う環境負荷を最小限に抑え、地球環境問題の解決に資する生産システムの諸側面に関する問題を議論する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
「なし」

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
「経営（システム）工学」、「生産管理」並びに「オペレーションズ・リサーチ」における基本的な知識を修得していることを前提として授業を行う。

【教科書等】
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

【授業内容とその進め方】
<p>下記項目について講義とディスカッションを行う。</p> <p>1. 生産方略（1）市場（2）製品（3）製造（4）物流</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

2. 生産スケジューリング(1)ロジスティックス(2)オペレーション(3)マンパワー

3. 生産環境計画(1)環境影響評価(2)環境マネジメント(3)循環型生産システム

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験の成績を7割、レポート・出席回数・授業中の発言や態度を3割として、合計点で成績を評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、質問はメールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

本講義を履修する学生さんには、受動的に授業を聞くのではなく、取り上げる項目について自発的に調査・検討を行い、授業では積極的に発言することを希望します。

【その他】